

生い立ち

私たちの世界では、ひとりひとりちがう考え方があり、自分の夢があります。いろいろな影響、たくさんのがまん、たくさんを試練があり、心の中でいろいろ考えます。

「できるかな。この試練に負けないかな。夢にとどくかな。」といつも思っていました。

私たちは7人きょうだいで、私は3番目で、いちばん上の娘です。子どもの時から、私は生活の大変さをよく知っていました。お金が少なく、他の人たちと同じように大変な生活をしていました。私は若い時から、小さい田んぼで仕事をしました。田舎の仕事になれていきました。これも、毎日の生活のお金になるからです。

暑い日でも田植えをして、頭を下げるたびに、私の汗が土に落ちるのが見えました。その時、私は思いました。

「両親の笑顔のうしろには、つかれと苦労がある」と。

一方で、私は学生でした。両親は毎日食べ物を作って売っていました。ほとんど毎日、パパとママはパンシットやクエククエク、シナポットなどを作りました。学校のあと、私はいつも手伝っていました。私はお客さんに食べ物をわたしたり、お金をもらったりして、ほとんど5時間立っていました。私の体はとてもつかれていました。そして、両親の苦労とつかれを毎日見ていました。これも、毎日の生活のお金になるので、私はこの生活になれていきました。

私は両親を心から尊敬しています。両親は私のインスピレーションです。

私は両親のために夢をかなえて、苦労にお返しをしたいです。そして、両親の本当の笑顔を見たいです。

生活が大変だったので、私は大学をやめて、日本語の勉強をすることにしました。出身の町を出て、都会に来ました。都会での生活はとても大変でした。環境もかわるし、物価も高いです。食べないで学校へ行った日もあり、ねむれない夜もありました。

でも、この経験で、私はまじめになり、自立して、神さまからもらった恵みを大切にすることを学びました。だから、一生けんめい勉強して、先生たちの教えを理解して、自分にいかしました。こうして、私は日本語の勉強を最後まで終えることができました。

今、私はえらんだ道を歩いています。毎日来る試練に向かって、がんばっています。

私は家族を貧しさからすくいたいです。ゆたかな生活をしたいです。両親にお返しをしたいし、自分のためにもがんばりたいです。

神さまが私と家族をみちびいてくれていることに、心から感謝しています。